

## 第1回海事観光推進協議会 議事概要

日時：令和元年6月25日（水）15:00～15:30

場所：霞が関プラザホール（千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング1階）

- 国土交通省水嶋海事局長、協議会座長の（公社）日本観光振興協会久保理事長挨拶に引き続き、事務局より協議会設立趣旨説明。
- その後、意見交換を実施。主な意見（概要）は以下のとおり。

### 【主な意見（概要）】

- ・ 海事観光の推進に当たっては、事業者だけの取組には限界があることから、関係者と連携することが不可欠であり、海事関係業界と幅広い業界の連携のプラットフォームとして本協議会が設立されたことは大変意義深い。
- ・ 地域への誘客に際し、各地域における取組が重要であり、地域における海事観光の推進体制を整えて頂きたい。例えば、地方運輸局の海事振興部と観光部が連携した取組が必要でないか。
- ・ 最近の海事観光の認知度の高まりを受けて、瀬戸内地方では、民意による意欲的な取組が進んでいる。地方運輸局やDMO等が旗を振りつつ地域の事業者と一緒になって取り組むことが必要。
- ・ 「海事観光の認知を高め、観光需要を高めること」と「商品サービス開発」の一体的な組合せを地域で作ることが重要。
- ・ 特に、インバウンド向け情報発信について、JNTO等との連携によるデジタルツーリズムへの更なる取組推進が重要。
- ・ 地方誘客に当たり、二次交通が重要な課題。インバウンド推進という観点からも、海の魅力を地方で発揮するには、二次交通たる足の確保が重要。
- ・ 漁業権の関係で自由な観光（運航）ルートが開発できないと聞いた。従前、規制によりチャレンジできなかった部分もあると思うので、事業者が新規取組にチャレンジしやすい環境整備も大事ではないか。
- ・ 協議会のメンバーでボート、ヨットに実際に乗って頂いて、観光としての魅力を実体験して頂きたい。

以上